



*イベント情報など
日々配信中!



70年の節目に記念運行

12月6日(土)、くりはら田園鉄道公園で「くりでん創業祭」が開催されました。

今年は「M153」と呼ばれる客車に、同公園が開園してから初めて一般客を乗せて走行しました。昭和30年に初登場し、完成70周年を迎えた「M153」は、くりはら田園鉄道の前身に当たる栗原電鉄時代に活躍した主力車両です。



当日は、往年の姿を思わせる車両に多くの家族連れや鉄道ファンが乗車した他、貴重なその姿を写真に収めていました。

栗原の酒蔵見学を楽しむ

11月29日(土)、一迫地区川口の金の井酒造株式会社で「金の井酒造の酒蔵見学」が開催されました。

この催しは、一般社団法人くりはらツーリズムネットワークが提供する体験プログラム「くりはら博覧会“らいん”2025秋冬」の1つとして開催されたものです。

当日は、参加者10人が、寒仕込みの酒造りが始



まった酒蔵内で、日本酒を醸すためのもうみなど製造工程を見学し、質問をしながら、興味深くその様子を見守りました。

地域づくりで未来へ希望を

11月16日(日)、志波姫地区の城内環境保全会が地域内の花壇など2カ所に掲示する看板を制作しました。看板は、地域内に居住する人たちの手形などを8色の絵の具で色鮮やかに押したもので、中には昨年生まれた赤ちゃんの足形もあります。

この看板は、地域の農業環境を守る城内環境保全会が、未来を担う子どもたちなどに制作イベントに



参加してもらい、地域づくりの思い出を作ってもらおうと企画したもので、12月7日(日)に花壇脇に設置されました。

まちの話題 ズームアップ! ZOOM UP!

MACHI no WADAI

各地区の催しを、毎月5地区ずつ紹介します。
取材を希望する場合は、催しを開催する2カ月前までに、市政情報課(☎22-1126)へ連絡してください。

地域でつくる文化発表会

12月7日(日)、栗駒みちのく伝創館を会場に「第5回くりこま文化祭」が開催されました。

この催しは、栗駒地区を拠点に活動する芸術や舞踊、文化団体で組織する栗駒芸術文化協会が主催したもので、8団体が発表を行いました。

当日は、会員たちが制作した絵画や和紙人形、写真など約210点が展示された他、舞台上では、合唱や



舞踊、相撲甚句、地域に伝わる昔話などが披露され、会場を訪れた約200人が、たくさんの温かい拍手を送りました。

鶯沢で笑顔輝く運動会

11月30日(日)、鶯沢体育館を会場に「令和7年度栗原市鶯沢大運動会」が開催されました。

当日は、鶯沢地区内の7行政区対抗で競技が行われ、小学生未満を対象にした「みんな一等賞」では、子どもたちの一生懸命な姿に、観客から温かい声援が飛び交いました。また、同競技では、急きよ85歳以上の部が行われ、多くの拍手が送られました。

その他、玉入れや輪投げ、だるま突きなど6種目の競技も行われ、参加者は、世代を超えて笑顔で競技を楽しみました。



くりはら合同就職面談会

12月5日(金)、栗原文化会館で「くりはら合同就職面談会」を開催しました。

この催しは、求職中の人に市内事業所の仕事内容を知ってもらおうと、築館公共職業安定所と市が主催したものです。

当日は、44人が来場し、午前と午後それぞれ6社が事業紹介を行いました。また企業ごとのブースでは、来場者から、募集職種の内容や働き方について、積極的に質問をする様子が見られ、活気のある面談会になりました。



輝く日本一くりはら大賞を贈呈

12月4日(木)、文化、芸術、スポーツなどの分野で日本一に輝き、市民に希望と勇気を与えた人に贈る「輝く日本一くりはら大賞」を、白鳥彩さん(築館沖富)と佐藤潤一さん(一迫姫松南沢)に贈呈しました。

2人は、昨年滋賀県で開催された「第24回全国障害者スポーツ大会」に出場し、このうち、白鳥さんは陸上競技ソフトボール投で優勝、佐藤さんはアーチェリーアーチェリカーブ30mダブルラウンドで2年連続の優勝を果たしました。



本間さんをアンバサダーに委嘱

12月8日(月)、栗原の魅力を広める栗原ドリームアンバサダーに、県内を拠点に活躍するタレントの本間秋彦さんを委嘱しました。

本間さんは、テレビ番組の司会やイベントの進行役、多くのテレビCMなどに出演し、人気タレントとして広く活躍しています。

本間さんは、就任に当たり「栗原は自然豊かで魅力的な所です。食材や名所旧跡など、魅力を掘り起こし、積極的にPRをしていきたい」と、意気込みを語りました。



医療や介護を考える一日に

12月6日(土)、栗原文化会館で「くりはら結びフェスタ」が開催されました。

この催しは、市内で医療や介護、福祉分野のサービスを提供する事業者が一堂に集まり、地域の人たちと交流を図ろうと開催されたもので、築館地区のやまと在宅診療所栗原が初めて開催したものです。催しでは、介護に関する講演の他、白衣に身を包んだ子どもたちが、薬剤師の仕事を体験するコーナーなどが設けられ、子どもたちは、真剣な表情で薬の小分けなどを体験しました。